

世界の工業② ~ヨーロッパ~

(1)イギリス

※イギリスは①_____を中心に分布する②_____・鉄鉱資源を背景に産業革命を達成した。

またイギリスは主要な工業地域が国内の炭田に近接して成立したことも特徴的である。

産業革命前のイギリス

③_____地方

産業革命前から、④_____で栄えていた。

産業革命発祥の地

⑤_____地方

産業革命発祥の地であり、絹工業から重工業へと変化した。

近年のイギリス

国内資源の枯渇から工業原料を⑥_____に依存し、工業地域は⑦_____から⑧_____へと移ってきてている。

Ex)⑨_____、⑩南ウェールズ工業地域

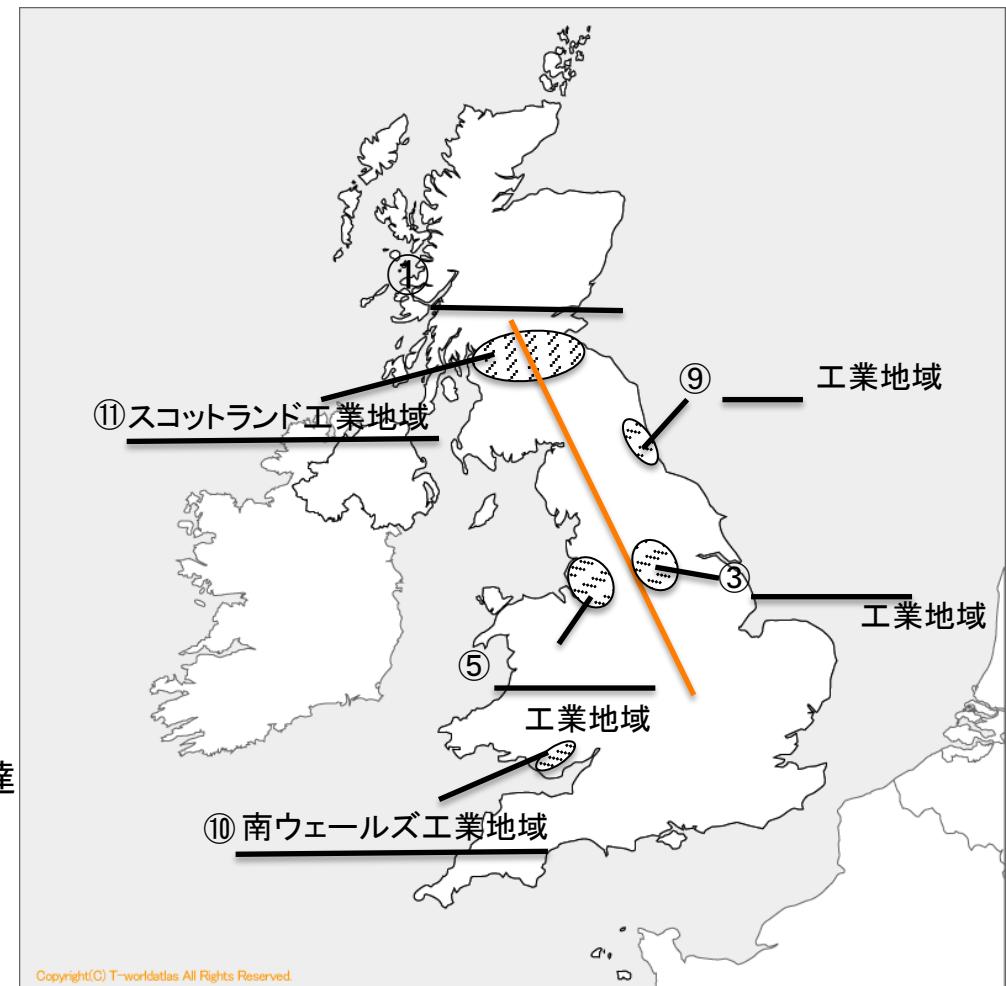
その他

⑪スコットランド工業地域では⑫_____が発達

1960年から北海油田の開発に着手する

→1980年からは、石油の輸出国(自給率91.9%)

(2006年)



(2)ドイツ

①_____であり、②_____資源と③_____に恵まれて発達。

ドイツの工業地域

④_____ヨーロッパ最大の工業地域である。

→エッセン、ドルトムントが中心(鉄鋼業)

⑤_____フランスに近接した地域で、炭田地域。

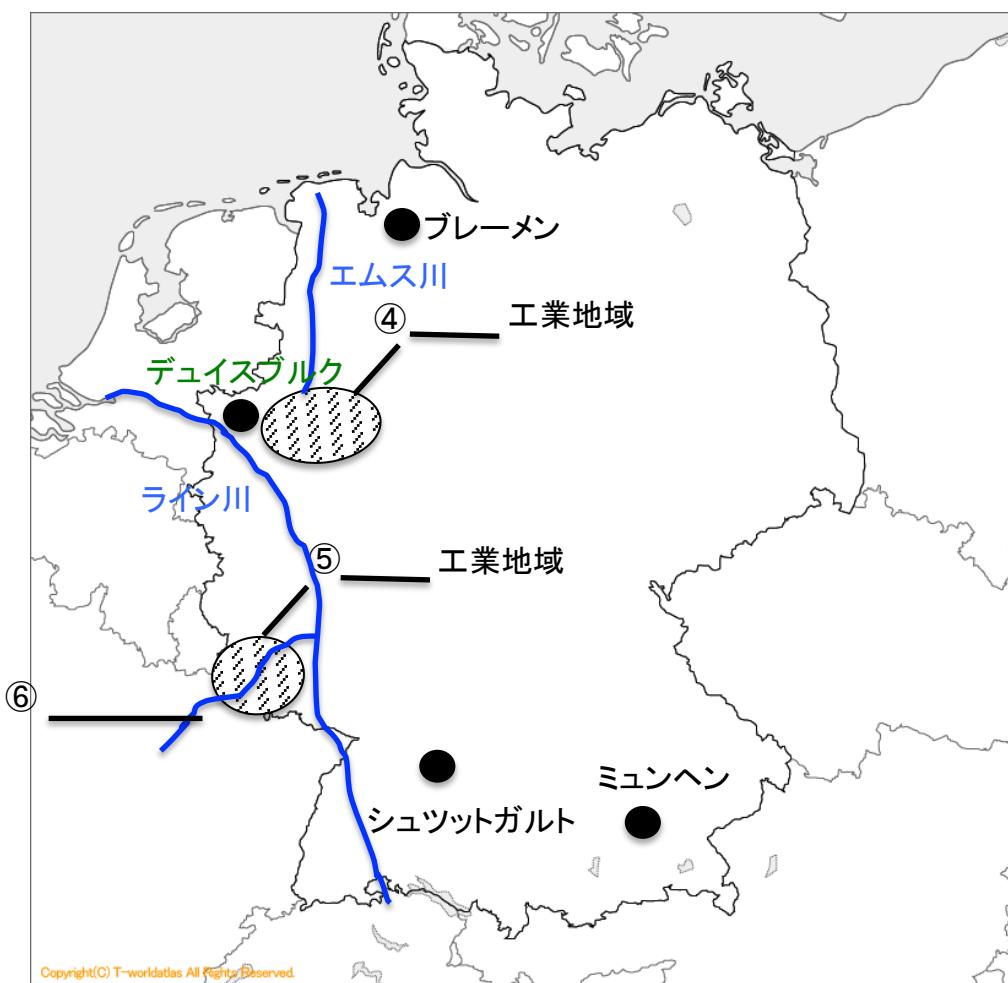
⑥_____の水運と結び
ついて鉄鋼業が発達。

その他

1970年代頃から資源(石炭・鉄鉱)の枯渇が顕著となり、
工業の中心も輸入資源・製品輸送の便が良いデュイスブルク(ライン川とルール川の合流地点)へ移動

ブレーメン……ウェーザー川のエスチュアリーを背景
に発達。

ミュンヘン・シュツットガルト(ドイツ南部)……自動車、
機械工業



(3)フランス

①_____と②_____を結ぶライン(国土軸)が工業の中心である。

③_____が最大の工業地域。(④_____)

第二次世界大戦後のフランス工業

⑤ _____ を中心にガス・電気・石油などの
⑥ _____ を国有・国営することで工業化に努めた。
(混合経済制度)

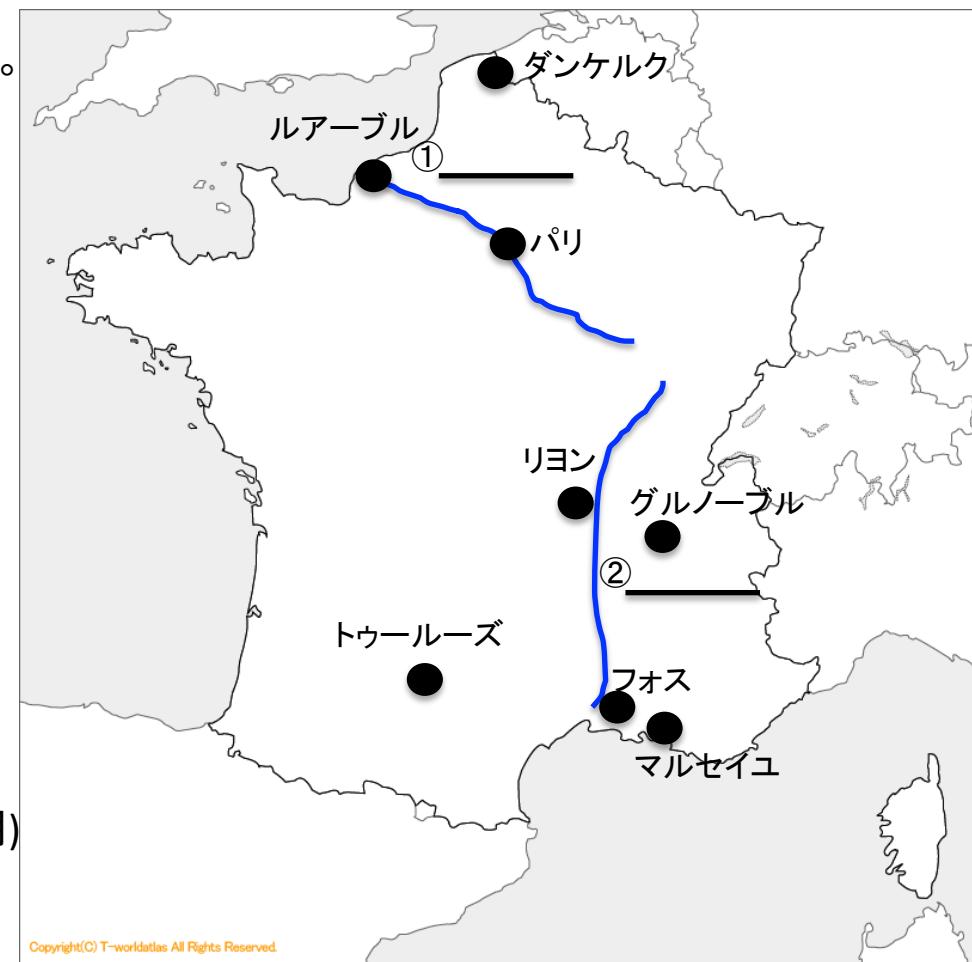
現在のフランス工業

鉄鉱石の枯渇でフランス鉄鋼業は輸入鉄鉱に依存している。

その他

トゥールーズ…航空機産業(機械・先端技術産業)

グルノーブル…アルミニウム工業(水力発電を利用)



(4)イタリア

- ・イタリアは、スペインと同様に工業化に乗り遅れた国。
→原因:鉱産・エネルギー資源に恵まれていなかったため。
- ・フランスと同様に、**国が主要産業に資本参加する混合産業**が特色である。

北部でのイタリア工業

イタリアの工業の中心は①_____である。

②_____ ③_____ ④_____ の都市を結ぶ地帯である。

②_____

自動車工場が発達。

③_____

高級服飾産業のほか、金融・出版、大企業の本社が集中するイタリア経済の中心地。

④_____

石油をはじめとするエネルギー・鉱山資源の貿易港として発達。臨界工業地帯を形成。

※北部の発達はアスプス山脈の融雪水を利用した

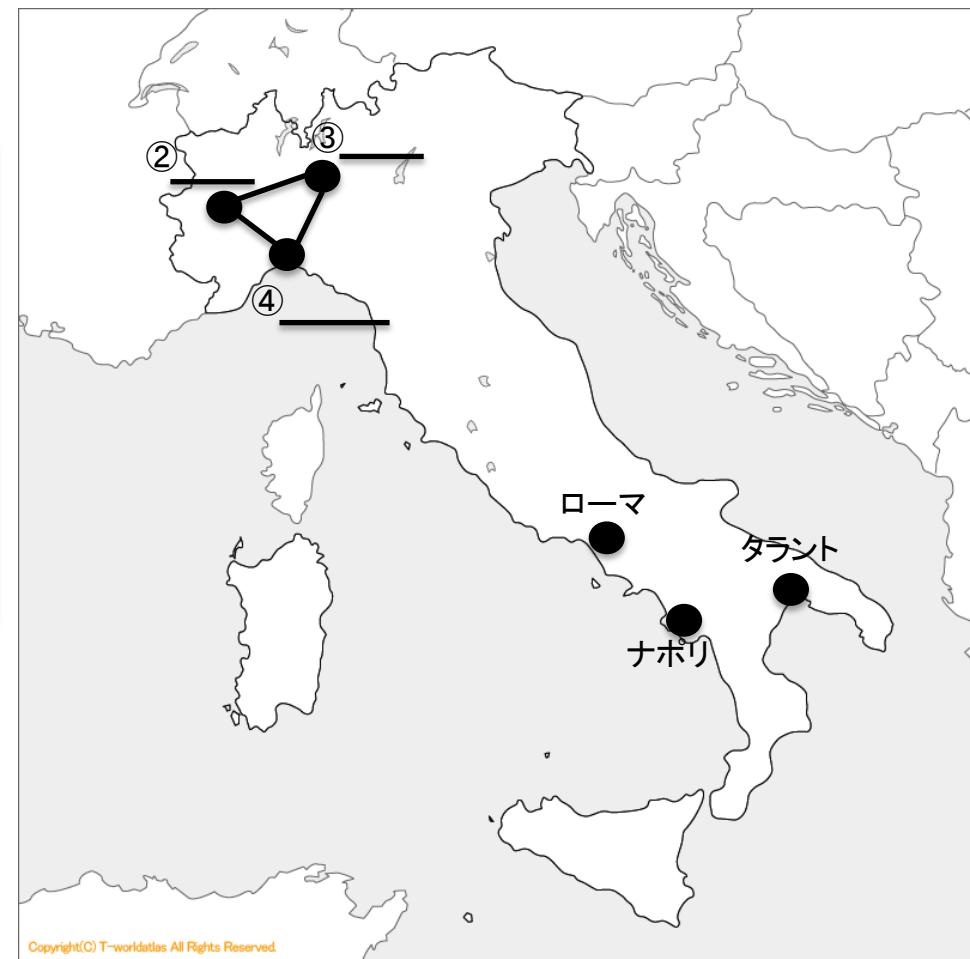
⑤_____ 要因。

その他

タラント…鉄鋼業

ナポリ…石油化学

北部との経済格差解消のためバノーニ計画より整備



確認問題

次のA～Dはヨーロッパの主要な国について、その工業の概要を述べたものであるが、当てはまる国の組み合わせとして妥当なもののはどれか。

- A.この国の工業は北部に集中し、伝統的な繊維工業のほか、化学工業や自動車工業に重点が置かれている。巨大企業が存在する一方で、手工業的な中小企業による生産が多い。
- B.この国は、第二次世界大戦後、基幹工業を国有化しながら重工業政策を進め、鉄鋼業を中心に、石油化学や機械・自動車・航空機などの産業が発達している。工業地域は、主に国の東側に集まっている。
- C.この国の工業の特色は、主要な工業地域が国内の炭田に近接して成立したことである。これらの工業地域は主として内陸部に形成されたが、資源不足から海外へ原料を求めるようになり、臨界地域に工業生産の中心が移ってきてている。
- D.この国では、豊富な地下資源と河川や運河の水利を背景としたEU最大の工業地域が形成されている。この地域で産出される粘結炭は、コークスの製造に向いており、鉄鋼業の発達の基盤となった。

A	B	C	D
1. ドイツ	イタリア	フランス	イギリス
2. ドイツ	フランス	イタリア	イギリス
3. イタリア	イギリス	フランス	ドイツ
4. イタリア	フランス	イギリス	ドイツ
5. イギリス	フランス	イタリア	ドイツ